

健康に関する知識・技能を実生活で生かす力の育成

- 自分との関係性を高める工夫を通して -

教職実践専攻・教育実践開発コース
学籍番号 17GP506 氏名 田中 宏輝

I 主題設定の理由

1 学習指導要領及び青森県の取り組みから

新高等学校学習指導要領解説保健体育編(2018)¹では、「生涯にわたって健康を保持増進すること」や「生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続すること」が重視されている。その観点から、保健と体育を関連させた指導や小・中・高等学校の系統性を踏まえた指導が求められている。したがって、学校生活における健康に関する知識・技能を実生活で生かすことが望まれていると言える。

現在青森県 H 市では、H 式健康教育コアカリキュラム²を全ての小・中学校で実施している。このカリキュラムでは、小学校 6 年生と中学校 2 年生でコアとなる健康テーマを設定し、全学年の教育活動に広げていくことで、義務教育 9 年間に系統性と連続性を持たせている。このことを踏まえ、社会との接続段階にある高等学校で、実生活に生かせるような健康教育について研究することは有意義だと考える。

2 授業実践校の実態から

高校生の運動・食事・休養についての実態をアンケート結果と観察から見ると、

運動：休み時間の体育館の利用が少ない 食事：メニューを選ぶ時に健康の視点がない 休養：睡眠時間が短い・就寝時間が遅い
--

などの健康課題があげられる。このことから、中学生までに身に付けた「知識・技能」が実生活で生かされていないのではないかと判断した。教員による授業改善によって、生徒が学習内容に対する意欲・価値を高め、自分の生活を見直せるようになることが解決につながると考える。

II 主題の意味

1 健康に関する知識・技能とは

WHO 憲章における健康「身体的, 精神的, 社会的に完全に良好な状態 ³ 」を目指すために、必要な知識・技能のことである。

2 実生活で生かす力とは

学校生活全体を通して学んだことを、生徒の家庭や地域などの日常生活において生かす力のことである ⁴ 。

3 自分との関係性を高める工夫 とは

生徒が健康という視点（自分との関係性）を高めることができるように行う工夫のことである。以下の2点が含まれている。

- (1) 学習内容と**自分との関係性**を高める工夫
- (2) 学習内容と**他の教科・領域との関係性**を高める工夫

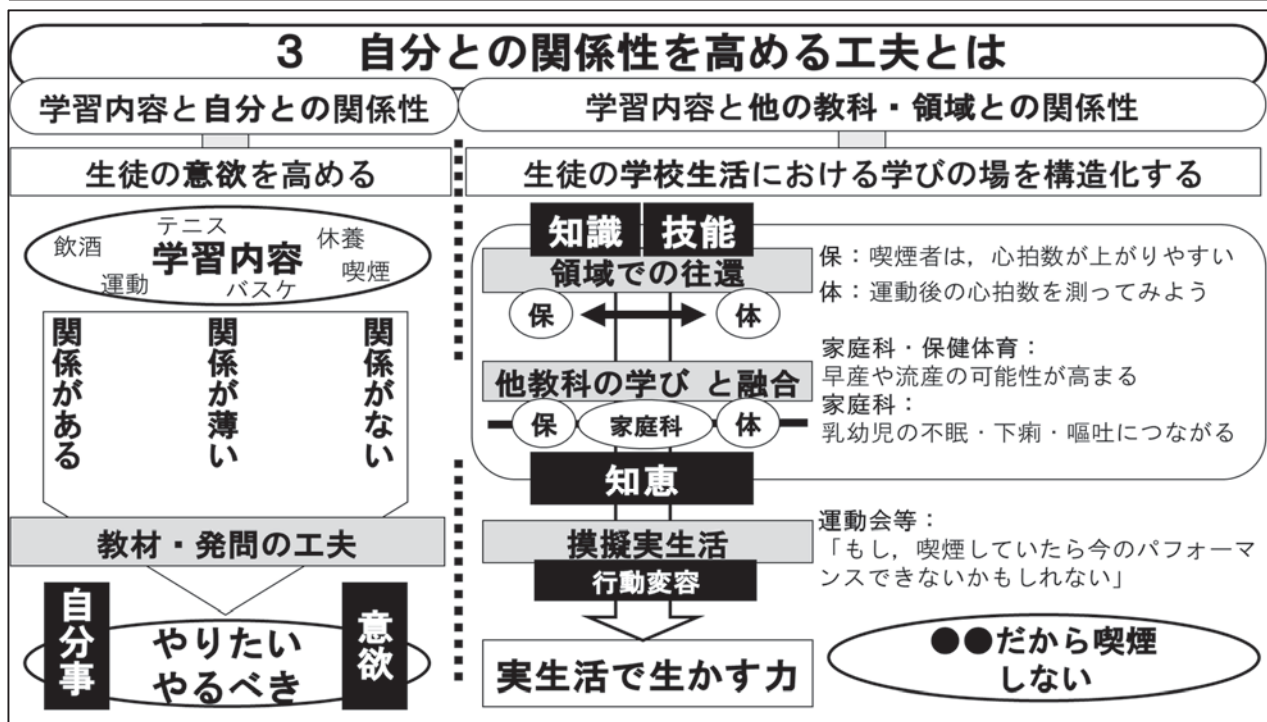


図1 自分との関係性を高める工夫

- (1) 学習内容と自分との関係性を高める工夫は、**生徒の意欲**を高めるための手立てである。学習内容が自分と関係ないと思っている生徒に、身近な人や物と関連させた教材の提示・発問をすることで「やりたい、やるべき」といった意欲に変える。
- (2) 学習内容と他の教科・領域との関係性を高める工夫は、**生徒の学校生活における学びの場を構造化する**ための手立てである。「保健と体育で学んだことを往還する」「他教科で学んだことを保健体育で生かす」と言った経験を積み重ねることによって、知識が知恵へと変化していき、実生活で生かせるようになっていく。

III 研究の目標

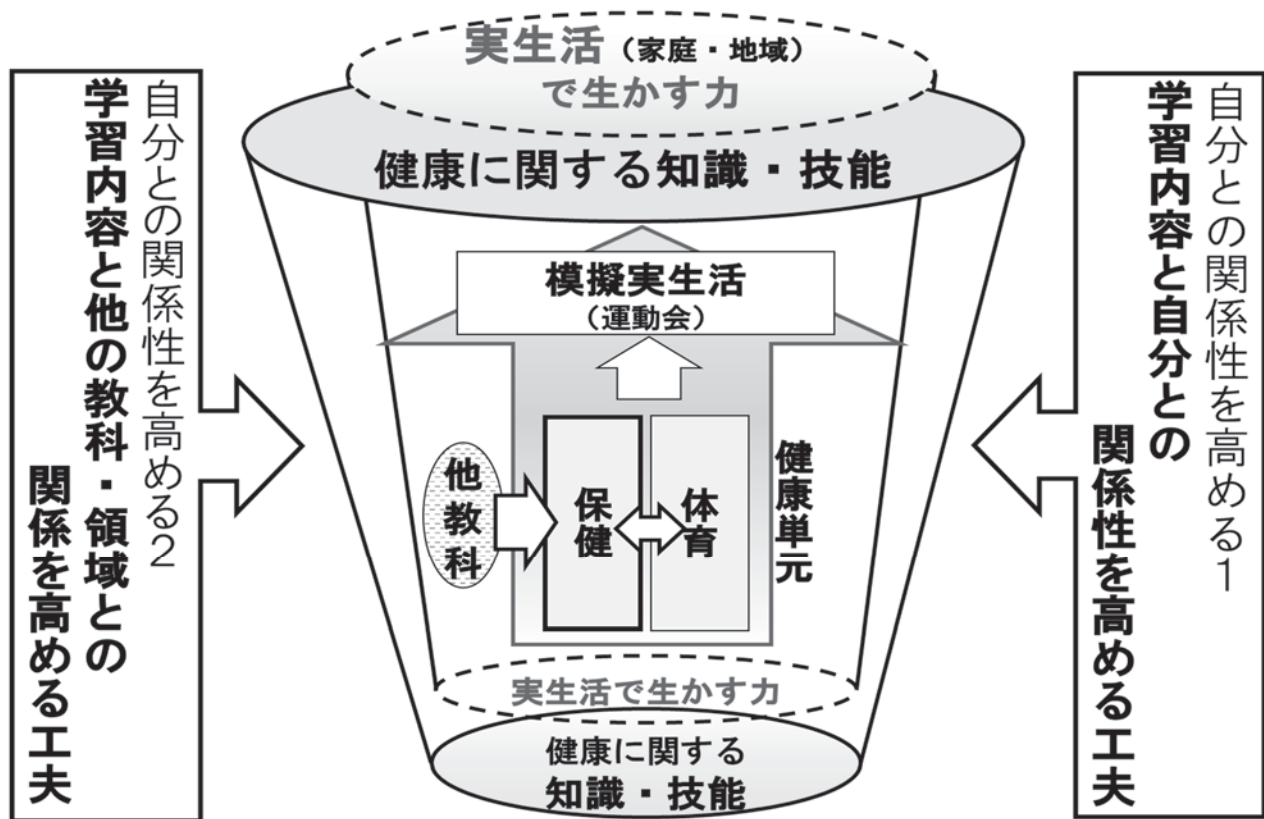
健康に関する知識・技能を習得し、実生活で生かそうとする生徒を育成する学習指導法を究明する。

IV 研究の仮説

保健体育科授業を中核においた健康単元において、自分との関係性を高める工夫をすれば、健康に関する知識・技能を実生活で生かそうとする生徒が育つだろう。

V 研究の構想

- 1 学習内容と自分との関係性を高める工夫について
身近な人や物と関連させた教材の提示・発問をする。
- 2 学習内容と他の教科・領域との関係性を高める工夫について
保健体育授業と運動会を組み合わせた健康単元を設定する。
授業内において他教科・領域の学びと関係づける。
- 3 研究構想図



VI 検証授業に向けての構想

- 1 **ねらい** 仮説に基づく実践授業により，資料収集及び分析を行い仮説検証する。
- 2 **対象** A 県立 B 高等学校 第 1 学年 2 組 男子 20 名
- 3 **期間** ①平成 30 年 5 月 31 日～6 月 28 日 (健康単元 1)
②平成 30 年 8 月 27 日～9 月 7 日 (健康単元 2)

4 方法

研究仮説を検証するために，健康単元 1・2 で授業を実施することと，健康単元 1 の事前と事後 (以下，事後 1)，健康単元 2 の事後 (以下，事後 2) に「健康に関するテスト」「自分との関係性についてのアンケート調査」を実施することで資料収集する。

5 資料収集の内容と方法

【内容】

健康単元における学びで自分との関係性を高める工夫をすることによって，**実生活で生かす力を高めること** (以下の 3 点) について検証するためのデータを収集する。

- ①健康に関する知識・技能を高めることができたか
- ②学習内容と自分との関係性を高めることができたか
- ③他教科での学びを生かしたか

【方法】

- 学習の様子を観察
- 学習ノートの記述
- 生徒の感想
- 事前・事後調査の評価（・アンケート ・テスト）

Ⅶ 授業の実際

- 1 単元名 健康単元1：6次（保健授業4時間，体育授業2時間）
健康単元2：8次（保健授業2時間，体育授業5時間，運動会）

2 単元の目標

健康単元1 「現在の運動・食事・休養を見直して適切な生活習慣を考えよう。」
健康単元2 「自分なりに運動の工夫をしよう。」

3 授業構成の考え方及び単元計画

本研究における単元構成は，B 高等学校保健体育授業と運動会で配列した健康単元である。また，各授業において「健康に関する知識・技能を高める工夫」と「自分との関係性を高める工夫」を配列した。

〈健康単元1〉		単元導入		事例1		単元展開		単元終末		
		1体育 バスケ	2保健 生活習慣病	3体育 バスケ	4保健 食事	5保健 運動・休養	6保健 運動・休養			
事前アンケート	①健康に関する知識・技能を高める工夫		構造図を提示する	歩数を計測する	構造図を提示する	構造図を提示する	構造図を提示する	構造図を提示する		
	②学習内容と自分との関係性を高める工夫		青森県の年代別死亡率表を提示	未学習の保健領域と関係づける	食事が及ぼす健康問題を構造化	ライフステージと運動の関係	生活習慣病と運動・休養・食事の関係を構造化	健康単元1での学びと関係づける		
	③学習内容と他の教科・領域との関係性を高める工夫		近日学習予定の家庭科領域と関係づける							
	学習活動	導入	学習の見通しをもつ	生活習慣と関係する病気を調べる	3つの体力を知る	食事の意味を考える	健康からみた運動の意味を知る	健康にとっての休養の意味を知る		
		展開①	基本的技能を高める	生活習慣病を知る	ゲームをする	栄養素の働きを知る 食事に関わる健康問題を知る	運動不足が及ぼす健康問題を知る	適切な休養のとり方を知る		
展開②	ゲームをする	自分の生活習慣を見直す	模擬実生活 適切な食生活について考える	健康に良い運動の行い方を知る		健康単元1のまとめをする				
まとめ		まとめをする		歩数と気持ちの関係に気づく	まとめをする					
事後アンケート	①健康に関する知識・技能を高める工夫		天気を書き添える	歩数を測定する	ロールプレイングをする	テニスの体力をイメージした運動を考え、実施する	構造図を提示する			
	②学習内容と自分との関係性を高める工夫			自分の運動量を知るために、歩数計をつける	身近な人に喫煙を勧められた時の断り方(発問の工夫)	健康単元1での学びを生かす	自分の運動強度を知るために、心拍数を測る	健康単元1での学びを生かす		
	③学習内容と他の教科・領域との関係性を高める工夫							家庭科での学びを生かす		
	学習活動	導入	オリエンテーションをする	学習を見通す	タバコに対する印象を共有する	歩数計をつける	心拍数の測り方を知る	学習を見通す	飲酒に対する印象を共有する	事後アンケート2 運動会終了後実施する
		展開①		基本運動をする	喫煙によって起こる害を知る	サービスのルールを知る	基本運動をする	行動体力を知る	飲酒による短期的な影響を知る	
展開②		基本運動をする	試しのゲームをする	世界・日本における喫煙対策を知る	【コート内】フッシュサービスを使ってラリーゲームをする	【待ち時間】歩数・心拍数・技能を高めるボール投げを考える	飲酒による長期的な影響を知る	模擬実生活 ロールプレイングをする		
まとめ		まとめをする		模擬実生活 ロールプレイングをする	歩数計の結果を共有する	歩数計・心拍数の結果を共有する	考えた運動を発表する	模擬実生活 ロールプレイングをする		

4 授業の実際



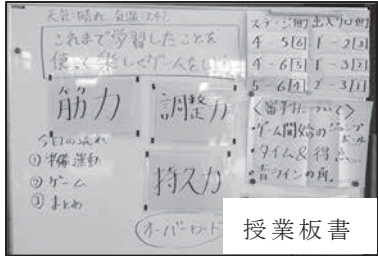
(1) 事例1: ②学習内容と自分との関係性を高める工夫

ア 健康単元1第3次 平成30年6月5日 バスケットボール

イ 本時主眼 学習した作戦や戦術を活用して、ゲームを楽しむことができる。

【学びに向かう力、人間性】

ウ 展開

学習活動・教師の支援 (□) 自分との関係性を高める活動 (■)	生徒の反応																														
<p>1 学習を見通す</p> <p>■授業での運動量・自己の体力を把握するために、歩数計をつける。</p> <p>(1) 準備運動をする。</p> <p>(2) めあての確認を把握する。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> これまでの学習を使って、楽しくゲームをしよう。 </div> <p>2 3つの体力について想起する</p> <p>■バスケットボールの体力に限定し、それぞれの例をあげる。</p> <p>(1) 持久力の高め方を確認する。</p> <p style="text-align: center;">②学習内容と自分との関係性を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーロード原則 <p>3 ゲームをする</p> <p>□動き方がわからない生徒の運動量を増やすために、「仲間がパスを出しやすい位置に動く」ことが、学習したパス&ランや仲間と連携した動きにつながることを説明する。</p> 	<p style="border: 2px dashed black; padding: 5px;">前時では、心拍数を測定し、息がきれるくらい動かなければ、体力は高められないことを学習した。</p> <p>T: 歩数計をつけた理由は、何だと思えますか。</p> <p>S: どれだけ動いたかを知るため。</p> <p>T: そうですね。今日は、息がきれるくらい動いた時の歩数を自分で把握してほしいと思います。</p> <p>T: 前回、3つの体力を学習しました。<u>バスケットボールを例に</u>、どんなものがあったか近くの人と話してみてください。</p> <p>S1: 筋力は、素早く動く力です。</p> <p>S2: 調整力って<u>シュートを打つ時に使う力</u>だったと思います。打つ強さかも。</p> <p>T: どうすれば持久力は高まりますか。</p> <p>S3: 息がきれるまで動けばいいと思います。</p> <p>T: そうですね。息がきれるまで動かないと、持久力は高まらない。このことを何と言いましたか。</p> <p>S: オーバーロードの原則です。</p> <p>T: 今日は、3つの体力のうち1つを意識しながら、ゲームをしましょう。</p>																														
<p>4 まとめをする</p> <p>(1) 歩数と気持ちの関係に気付く。</p> <p>■体力と楽しさの関係を見出すために、歩数と気持ちを聞く。</p> <p>(2) 自分が一番高めようと意識した体力を学習ノートに書く。</p> <table border="1" data-bbox="276 1765 938 1899"> <tr> <td>楽しくゲームをすることができましたか。</td> <td>とても</td> <td>まあ</td> <td>あまり</td> <td>まったく</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バスケットボールが以前より好きになりましたか。</td> <td>とても</td> <td>まあ</td> <td>あまり</td> <td>まったく</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自分の体力を知ることができましたか。</td> <td>とても</td> <td>まあ</td> <td>あまり</td> <td>まったく</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 持久力 </div> <p style="text-align: right;">学習ノートの記述</p>	楽しくゲームをすることができましたか。	とても	まあ	あまり	まったく		4	3	2	1	バスケットボールが以前より好きになりましたか。	とても	まあ	あまり	まったく		4	3	2	1	自分の体力を知ることができましたか。	とても	まあ	あまり	まったく		4	3	2	1	 <p>T: 楽しく体力を高めることができましたか。</p> <p>S: (挙手) 楽しくできた。(かなりきつい。まだまだ動ける。)</p>
楽しくゲームをすることができましたか。	とても	まあ	あまり	まったく																											
	4	3	2	1																											
バスケットボールが以前より好きになりましたか。	とても	まあ	あまり	まったく																											
	4	3	2	1																											
自分の体力を知ることができましたか。	とても	まあ	あまり	まったく																											
	4	3	2	1																											

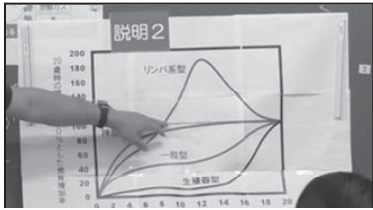

(2) 事例 2 : ③学習内容と他教科・領域との関係性を高める工夫

ア 健康単元 2 第 7 次 平成 30 年 9 月 6 日

イ 本時主眼 飲酒をすすめられた時の適切な行動選択・意思決定を考える。

【思考力, 判断力, 表現力】

ウ 展 開

学習活動・教師の支援 (□) 自分との関係性を高める活動 (■)	生徒の反応
<p>1 本時の学習内容を知る</p> <p>(1) 飲酒に対する印象を共有する。</p> <div data-bbox="212 562 823 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お酒との上手な付き合い方について考えよう</p> </div> <p>■自分の気持ちを表せるように、黒板に座標を書く。</p> <div data-bbox="204 701 970 913" style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>強いと思う</p> <p>飲 み た く な い</p> <p>弱いと思う</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 200px;"> <p>縦軸が「お酒に関する正しい知識がある・ない」であれば、もっと自分との関係性を高めることができた。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-left: 20px;"> <p>飲 み た い</p> </div> </div> <p>2 お酒による短期的な影響を知る</p> <p>□飲酒の影響に気付けるよう、法律がある理由について聞く。</p> <p>■子供は、成長の過程にあることを知るために、家庭科授業で使った「スキヤモンの発育発達曲線」を提示する。</p> <div data-bbox="316 1104 959 1137" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>③学習内容と他教科・領域との関係性を高める工夫</p> </div> <div data-bbox="580 1158 954 1366" style="text-align: center;">  <p>家庭科授業との共通教材</p> </div> <p>■妊婦の飲酒が胎児に及ぼす影響を知る場面で、英文の書いた写真を提示する。</p> <div data-bbox="316 1518 959 1552" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>③学習内容と他教科・領域との関係性を高める工夫</p> </div> <div data-bbox="491 1570 949 1809" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Drinking small amounts while pregnant may affect the baby's face</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Drinking small amounts while pregnant may affect the baby's face (妊娠中の少量の飲酒は、赤ちゃんの顔に影響を与えるかもしれない。)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>英語活用資料</p> </div> </div> </div> <p>3 お酒による長期的な影響と様々な対策を知る</p> <p>4 まとめをする</p> <p>(1) お酒を勧められたときの断り方を探し、友達と共有する。</p>	<p>気温, 天気を毎授業で確認する。</p> <div data-bbox="976 526 1436 604" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>気/温 27℃ 天気 くもり</p> </div> <p>T: なぜ、ここに貼りましたか。</p> <p>S1: お酒の匂いがあまり好きではないので弱いと思います。でも、「お酒飲めないと大人ではない」っていう感じがします。</p> <p>T: なるほど。では、飲みたい気持ちもあるんだね。</p> <p>T: なぜ、このような法律があるのでしょうか。</p> <p>S: 身体や脳に悪影響を及ぼすから。</p> <p>T: では、今度はこの図を見てください。見たことあるかな。</p> <p>S: あ、家庭科でやった。同じやつだ。</p> <p>S: スキヤモンだ。</p> <p>T: そうなんだ。家庭科でどのように習いましたか。ファイル見てもいいよ。(家庭科のファイルを出す)</p> <p>S: どこに書いてたかな・・・これだ。</p> <div data-bbox="1038 1413 1445 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教材連携: 家庭科授業で活用したスキヤモンの発育発達曲線</p> </div> <p>S: 「amounts」ってなんだろう。</p> <p>S: 単語帳に出てきた気がする。 (辞書を取り出す生徒)</p> <p>S: なんて書いたの。</p> <p>S: 大人になってたら相手しますよって書いた。</p>

Ⅷ 結果と考察

1 「実生活で生かすことができたか」について

(1) 「健康に関する知識・技能」を高めることができたか

健康単元1 第4次「食事と健康」では、「栄養素の働きと食事に関わる健康問題を知る」学習において、**構造化**して示すことで**知識**の定着を図った。

図2 構造図「栄養素の働き」では、横方向から見ると「栄養素名」、縦方向から見ると一つの栄養素が複数の「役割」を担っていることを知ることができる。

図2 構造図「食事に関わる健康問題」では、栄養素を摂りすぎたり不足したりすることで体に起こる健康問題について示している。

まとめでは、今日の朝食について改善点を書き込む活動を行い、模擬実生活とした。図3は学習ノート記述である。

このことから、この構造図によって健康に関する知識を高め「食生活を改善したい」という意欲につなげることができたと考える。

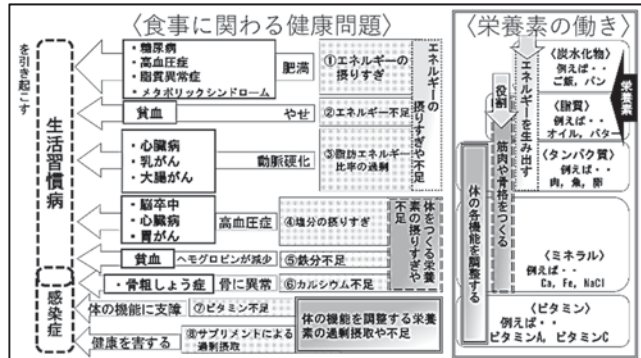


図2 栄養素の働きと食事に関わる健康問題構造図

「オレンジはビタミン。ゆで卵はタンパク質。トーストは炭水化物。バターは脂質。ミネラルが足りなく、骨粗しょう症、貧血の恐れがあるので気を付ける。」

図3 生徒Aの学習ノート記述

健康単元2 第4・5・6次「テニス」において、体力を高める活動をする中で、**技能**の向上を図った。

生徒は、テニスの経験がほとんどない。そこで単元目標は、「ラリーを続けること」にした。また、生徒が一斉に練習できるだけのコートがないことから、コート外でも活動できるようにした。コート外では、テニス技能を生かした運動ができるように「テニスの筋力・持久力・調整力の中から一つをイメージした運動を作成し行ってください。」という指示を出した。このことでコート外が、テニス技能を生かす模擬実生活になったと考える。

さらに、歩数計をつけたことで「思っていたより動いていなかった」「あまり歩数が多いのに、息が上がっている」等の変化から、技能を高めるためには体力が影響していることに気付いていた。写真1は、コート外で運動している様子である。

このような姿が、将来スポーツをする際に、自分の技能に合わせて道具やルールを工夫したり、積極的に運動を楽しもうとしたりする姿につながると考える。

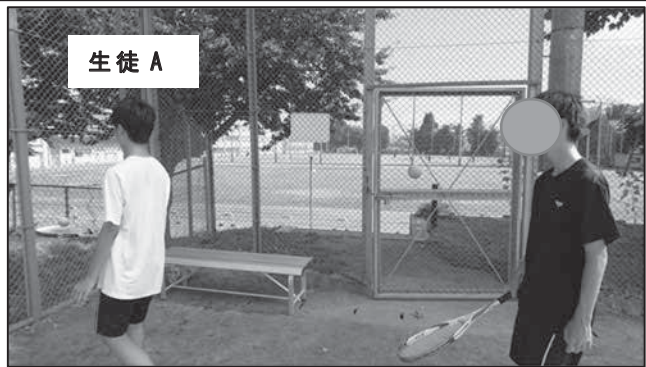


写真1 歩きながらボールつきをする生徒

「ボールを落とさないようにするという調整力を高める。歩くことでさらに難しくなるし、歩数が多くなる。」

図4 生徒Aの発言

(2) 「学習内容と自分との関係性を高めることができたか」について

健康単元2第3次「喫煙と健康」において、ロールプレイングを行い、**学習内容との関係性**を高めることをねらった。

まとめでは、親戚のおじさんにたばこを勧められた時の断り方について考えた。その後、教員が親戚のおじさん役を行うことで喫煙を勧める場面を想定させ、模擬実生活とした。学習ノートには、断った後におじさんがどのようにまた勧めてくるのかを予想して書き、実生活になるべく近づける工夫をした。その結果、生徒からは断り方として「ぜんそく持ちだから」「未成年だから」「害があるから」という回答が多く出た。また、自身の断り方のみならず、おじさんの勧め方を具体的にイメージできていたことから、学習内容との関係性を高めることができていると考える。

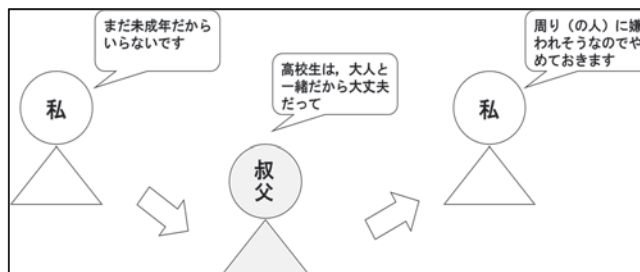


図5 タバコの断り方（学習ノート）

(3) 「他教科での学びを生かしたか」について

健康単元2第7次「飲酒と健康」において、**家庭科授業で学習した教材**を提示し、他教科の学びを生かすことをねらった。

展開1では、「飲酒による短期的な影響を知る」活動を行った。そこで、未成年者の飲酒が脳に悪影響を与えることを知るために、スキヤモンの発育発達曲線を使用した。神経系に着目して「脳が成長している時に飲酒をすると、脳細胞が破壊されること」を説明した。教材を提示した際には、「見たことがある」「家庭科でやった気がする」という声や家庭科のポートフォリオを出して内容を確認する姿(写真2)が見られた。このことから、保健体育と家庭科の内容をつなぐことができたと考えられる。

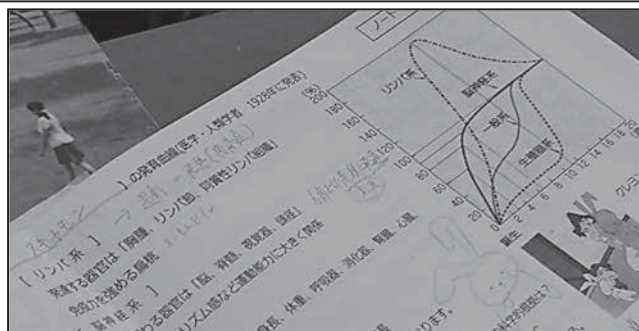


写真2 家庭科のポートフォリオ

健康単元2第7次「飲酒と健康」において、**英語で書かれた教材**を提示し、**英語科との関係性を高める**ことをねらった。

展開1では、飲酒が胎児に及ぼす影響を知るために、妊婦がお酒を手を取っている写真を班に配布した。

発問をする前から自分たちで英文を訳し始める姿が見られた(写真3)。今後は、さらに英語との関係性を高めるために、学習中の文法や題材を使い、英語教員と相談しながら教材をつくっていく。



写真3 英語の文章を訳す生徒

Ⅷ 研究のまとめ

1 研究の成果

(1) 実生活で生かす力について

①知識を高めることができた

「健康に関するテスト」の結果から（平均点数）

全ての項目が、事前から事後において向上している。最も大きく変化した「他教科・領域」では、家庭科授業で学習する「平均寿命」と体育授業で学習する「体力、オーバーロードの原理」について質問している。これらの学習内容は保健授業でも取り扱っている。このことから、学校生活の中に生かす場が増えることで、知識は定着しやすくなることを確認できた。また、教科間の接続のみならず担任教員が HR 活動で健康に関する知識について話すことで知識の定着を高めると考える。

項目合計点	事前	事後
運動(6点)	4.2	4.8
食事(9点)	6.6	8.1
休養(6点)	1.9	2.6
生活習慣病(8点)	7.5	7.6
他教科・領域(5点)	1.0	3.8
全項目(34点)	21.4	27.0

表1 健康に関するテスト 項目別まとめ

②学習内容と自分との関係性を高めることができた

「自分との関係性についてのアンケート調査」の結果から

「自分で食事のメニューを選ぶ時には、健康の視点をどのくらい気にしていますか。」という質問において、図6の結果が得られた。事後2では「とても」と「あまり」が減少し「まあ」が向上している。この結果から、健康単元を終えて健康の視点があると思っていた生徒が新しい視点に気付いたり、健康の視点がなかった生徒が自分の食生活を見直したりすることができていると考える。

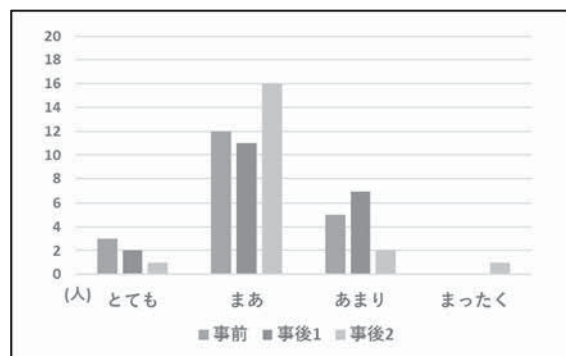


図6 自分と食事との関係性

(2)学習内容が実生活で生かされるまでの過程について

	生徒 A：運動部に所属している	生徒 B：運動機会が少ない	
習得段階 知識・技能	問い：なぜ、人は運動をする必要があるのか		知識
	健康であるため 肥満を防ぐ 生活習慣病	ストレス解消のため 衰えるから 体力をつける	
段階 模擬実生活	問い：運動会を終えて、学習内容について思い出したこと・関係があったことは何か		知恵
	マラソンは、 <u>持久力</u> を養う 短距離走は <u>筋力</u>		
終了段階 健康単元2	問い：授業を受けて変わったこと・意識していること・考えていることは何か		知恵
	その日の気温に注意して、 <u>給水</u> 、 <u>休憩</u> している		

表2 各学習段階における個人の変容

学習内容	学習内容に対する実態	知識・技能習得段階		模擬実生活段階	実生活で生かしている姿 ◎目指した姿 ○アンケートの記述
		A 学習内容と自分との関係性を高める工夫	B 学習内容と他の教科・領域との関係性を高める工夫		
運動	運動量が少ない 運動に対する価値が低い	A ライフステージにおける運動不足による影響図の提示	B 運動の効果が行い方で変わること体を <u>体育種目</u> で説明	自分で考えた運動をコート外で実施した 体育種目の技能を運動会で生かした	◎空き時間、運動する ○家で運動している ○体力の要素を考えて運動している
食事	食事に偏りがある	A 栄養素の働きと食事に関わる健康問題構造図を提示	B これから <u>家庭科</u> でも学習予定であることを説明	自分の食事を見直した	◎昼食にサラダをつける ○バランスよく摂ろうとしている
休養	就寝時間が遅い	A 快適な休養をとるための実践例を紹介	B 超回復について <u>体育種目</u> を例に説明	×	◎寝る前は、スマホを見ない ○寝る時間を決めて
喫煙	断る自信がない	A ロールプレイング	B <u>家庭科</u> で学習した内容を質問	ロールプレイングでたばこの断り方を練習した	◎実際に断る
飲酒	断る自信がない	A ロールプレイング	B <u>家庭科</u> で使用したスキャモン図の提示	ロールプレイングで飲酒の断り方を練習した	◎実際に断る

表 3 各学習段階における対象の変容

学習内容に対する生徒の実態を踏まえ、知識・技能習得段階では、A・Bの工夫を行った。模擬実生活段階では、授業内で実生活を想定した活動を行った。その結果、知識と実生活で生かす力を高めることができた。しかし、実際の行動については確認できていない。表3の□は、「◎目指した実生活での姿」と「○アンケートの記述」である。

2 今後の課題

- (1) 家庭科教員にも保健体育授業を参観していただき、単元レベルでの連携をする。
- (2) 保健体育教員が他教科の専門性を高めることで、スムーズな教科連携ができるようにする。
- (3) 健康単元実施時の保健と体育の内容を関係づける。
- (4) 模擬実生活から実生活につなげるための手立てを再構成する。

例：教員が、単元まとめに地域のイベントを紹介する。「武道館では、週一回トレーニングの講習会を無料で行っています。」

このことがきっかけとなり、生徒から「もっと知りたくて行ってみました」という実生活で生かしている姿をみることができると考える。

参考文献

- ¹ 文部科学省(2018)高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編 pp.10
- ² H市立I小学校(2017)実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究 - H式健康教育コアカリキュラム推進事業 - .平成28・29年度文部科学省委託事業 pp.35-36
- ³ 公益社団法人 日本WHO協会「世界保健機関 (WHO) 憲章」
<https://www.japan-who.or.jp/commodity/kensyo.html> (2019.1.30URL 確認)
- ⁴ 広辞苑 第七版 岩波書店 pp.1307